

## 小型機 2 機種計 48 機の発注を決定

～日本で初めて導入するボーイング 737 MAX 8 型機を 30 機と、エアバス A320neo 型機を 18 機発注します～

ANA ホールディングス株式会社(代表取締役社長:片野坂 真哉、以下「ANAHD」)は、本日 2019 年 1 月 29 日に開催した取締役会において、ボーイング 737 MAX 8 型機 30 機ならびに、エアバス A320neo 型機 18 機の合計 48 機の発注を決定いたしました。両機材の納入は 2021 年度から 2025 年度を予定しています。

現在、アジア・新興国の経済成長などを背景とした航空需要の拡大や旺盛な訪日需要など、ANA グループが大きく成長するビジネスチャンスを迎えています。2020 年度以降の ANA グループを取り巻く事業環境を見据え、ANAHD と Peach Aviation 株式会社(代表取締役 CEO:井上 慎一、以下「Peach」)がそれぞれ自社の戦略に基づき選択した、成長の基盤となる競争力のある最新鋭機材を積極的に導入することといたしました。

日本の航空会社として初めて導入するボーイング 737 MAX 8 型機は、従来機と比べてさらに開放感が高まり、機内空間の快適性が向上しているほか、約 15%の燃費改善が見込まれるなどの優れた経済性を有しており、国内線で運航中のボーイング 737NG シリーズの後継機として、30 機(確定 20 機、オプション 10 機)を新規発注いたします。

ANA 国際線で運航しているエアバス A320neo 型機は優れた燃費効率や長い航続性能を有しており、ANA グループの LCC 事業を担う Peach の成長を支える主力機材として、今般 18 機(確定 18 機)を追加発注いたします。

ANA グループは経営の基盤である安全を堅持し、お客様の視点に立った品質・サービスの向上に努めるとともに、成長戦略を着実に実行すべく積極的に機材への投資を進めてまいります。

### 【ボーイング 737 MAX 8 型機、エアバス A320neo 型機の詳細データ】

	ボーイング 737 MAX 8 型機	エアバス A320neo 型機
全長	39.5m	37.6m
全高	12.3m	11.8m
全幅	35.9m	35.8m
航続距離	6,570km	6,300km

※メーカーカタログ値

以上